

平成12年6月20日

市教育委員会 御中

薬害オンブズパースン・タイアップグループ
代表

市 区 町 - -
電話 ファクシミリ

公開質問と要望

(公開質問)

市立小学校、中学校の中に、正露丸等クレオソート製剤を常備薬として
いる学校がありますか。もし、把握していなければ、調査の上、ご回答い
ただけますか。

(要望)

市立小学校、中学校の中に、正露丸等クレオソート製剤を常備薬とする
学校がありましたら、その正露丸等クレオソート製剤を回収し、今後常備
しないように要望いたします。

1. はじめに

薬害オンブズパースンタイアップグループは、民間の薬害監視団体「薬害オン
ブズパースン会議」(<http://www.yakugai.gr.jp>)と連携している市民グループです。

2. 正露丸等クレオソート製剤の問題

正露丸等クレオソート製剤は、日露戦争の頃から使用されてきたことでなんと
なく有効安全な薬であると一般に思われているようですが、薬害オンブズパー
スン会議は、科学的な検証を行った結果、以下の問題を指摘し、厚生省に対し胃腸
薬の製造(輸入)承認基準からクレオソートを削除することを求め、大幸薬品
株式会社他クレオソート製剤製造・販売会社に対し正露丸等クレオソート製剤の
販売中止を要望しています。

(1) クレオソートは、高濃度で細胞を傷害し、強い腐食性があり、し
かも解毒薬がなく、劇薬に指定されていて、ヒトに対する発がん性が
否定されていない薬剤です。

正露丸(大幸薬品)の添付文書には、「皮膚に付着したらせっけん及び
湯を使ってよく洗ってください」と書かれています。絶対に〇〇しないで
下さい、という注意も多いのです。しかし、皮膚に付けていけない薬を内
服する危険性については何の記載もありません。

(2) 正露丸の常用量の約4倍の量を服薬して腸管壊死を起こし腸管切除を
受けた症例も報告されています。

薬害オンブズパースン会議が調査を委託した「医薬品・治療研究会」の
報告によれば、動物実験の結果からヒトの場合の中毒量を推定すると常用
量の約2~4倍となります。一般消費者が、薬が効かないと感じ増量して
服用することも考えられ、常用量の約2~4倍の量は、一般市販薬では決
して服用することが希な量ではありません。

(3) 正露丸の有効性の証明として大幸薬品が示した正露丸の臨床試験は、
正露丸を投与した人だけを対象するもので、正露丸を投与しないグループ
との比較がないので、有効性を証明する論文とは認められません。

(4) 多くの下痢は、腸管内に停滞している有毒物質等を排除しようとする
生体の防御反応ですから、下痢止めを服用しなくても原因物質が除かれる
と自然に治ります。「下痢には正露丸」という大幸薬品のコピーは、「下
痢は悪」という意識を消費者に押しつけるものであり、正しい薬剤情報の
提供とは考えられません。

まして、細菌性の急性下痢などには下痢止め薬の服用は禁忌です。

3. 学校での使用状況

薬害オンブズパースン会議では、正露丸等クレオソート製剤の特に子どもへの
影響を考え、2000年1月、電話帳で無作為抽出した、札幌市、函館市、仙台市、
東京23区、名古屋圏、大阪市、福岡市の小学校56校・中学校56校の養護教諭
・学校薬剤師に「正露丸等クレオソート製剤についてのアンケート」をお願いし
たところ、「問題が指摘されていることを知っていた」が94.6%、「常備薬とし
て使っていない学校」が74.3%にのぼっています。

さらに、薬害オンブズパースン会議は、4月13日、日本学校薬剤師会にも、「学
校常備薬における正露丸等クレオソート製剤の取り扱いと学校常備薬の選択、管
理に関する学校薬剤師の関与についての要望書」を提出し正露丸等クレオソート
製剤を学校常備薬として使用しないように指導すること等を求めています。

正露丸等クレオソート製剤を常備薬から外す動きが全国的に始まっています。

4. 期限

貴教育委員会は、上記質問についてどのような調査をし、上記要望についてど
のような論議をし、どのような結論に達したかを、7月21日までに同封の返信
用封筒で御連絡下さるよう、お願いいたします。

添付資料

- 1 厚生省と製薬会社宛の要望書
- 2 日本学校薬剤師会宛の要望書
- 3 養護教諭・学校薬剤師へのアンケート調査報告
- 4 薬害オンブズパースン会議機関誌